

## 第4回

# 豊島の学校



発行 / 申し込み先 豊島・島の学校実行委員会  
〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦3841-21 交流センター内  
電話 0879-61-4007 (豊島住民会議) FAX 0879-61-4007  
E-mail [teshima@joy.ocn.ne.jp](mailto:teshima@joy.ocn.ne.jp)

# 第四回 「豊島・島の学校」

## 受講者募集案内

### 開校日

2006年7月28日(金)～7月30日(日) 2泊3日

### 開校地

香川県小豆郡土庄町豊島  
豊島小学校 および 豊島全域

### 受講費

7月28日(金)～7月30日(日) 2泊3日 / 宿泊・食事を含む

おとな(中学生以上):20,000円

こども(小学生以下):10,000円

7月30日(日)

シンポジウムのための参加1,000円

全日程(2泊3日)定員

80名

### 募集期間

2006年6月30日まで

### 受講決定

受講決定者には7月上旬に通知いたします。  
また、受講者多数の場合は、抽選といたします。

### お申し込み方法

『豊島・島の学校受講申込書』に必要事項を記入の上、豊島・島の学校実行委員会あてに郵送、FAX、Emailにてお申込みください。なお、大変申し訳ありませんが、電話にてのお申し込みは、事務処理の都合上、お断りさせていただきます。

FAX0879-61-4007 E-mail [teshima@joy.ocn.ne.jp](mailto:teshima@joy.ocn.ne.jp)

### 注意事項

豊島までの交通費、前日後日の宿泊費などは自己負担をお願いいたします。  
授業内容については変更の可能性があります。  
健康・安全などの管理は受講者の責任でお願いいたします。  
中学生以下の参加は、保護者またはそれに代わる方のご同伴をお願いいたします。

# 第四回 「豊島・島の学校」

## 開校にあたって

わが国最大級といわれた約50万トンにのぼる豊島の産業廃棄物不法投棄事件は2000年6月6日に公害調査が成立し、その完全撤去が決まりました。

瀬戸内海の小さな島が道理を訴え続け、不法投棄に加担してきた香川県に責任を認めさせた歴史的な勝利でした。

2003年9月、私たちの今願だった産業廃棄物の撤去が始まりました。島は再生に向けて歩き出しています。しかし、過疎や高齢化が進む島にとっては長く険しい道のりです。だからこそ、再生への光明は、あの25年に及んだ闘いを心に刻み続けることで見えてくる。と私たちは思っています。

なぜ、大量の産業廃棄物がこの島に押しつけられたのか。  
なぜ、強大な権力に立ち向かふことができたのか。  
なぜ世論の支援を呼びこむことができたのか。

「私たちの運動について知りたい」と、豊島を訪れる多くの人たちからも同じ問いを投げかけられます。大量生産・大量消費・

大量廃棄 自然破壊 環境汚染を続けてきた未だ海迷する日本社会が、歩むべき新しい道を求めているかのようです。

そして、闘いの原動力について自問する時、私たちの思いは先人から受け継がれてきた島の文化、自然の恵み、人々の豊かな心にとどまっているのです。

自ら立ち上がった闘いの歴史を振り返れば、未来は開ける。豊島事件を教訓に、一度と同じ過ちを繰り返さないためにも、あの闘いをみなぞと一緒考え続けることが必要ではないかと思っています。

今年、「豊島・島の学校」開校中に、豊島に心を寄せさせていただく多くの皆様を中心になつて、豊島を材料に豊島学（楽）会の設けが予定されています。

豊島で共に歩むまちづくり。

2006年7月18日

「豊島・島の学校」を開校します。

第四回 「豊島・島の学校」

授業内容

	7月28日（金）	7月29日（土）	7月30日（日）
		朝食	朝食
午前	<p>授業 9:00～11:30 「豊島を学ぶ」 科学技術クラス 法律家・メディアク ラス 住民クラス その他</p> <p>受付 11:00～ 場所 豊島交流センター (家浦港)</p>		<p>大丁場見学 豊島学(楽)会</p>
		昼食	昼食
午後	<p>開校式(13:00) オリエンテーション 不法投棄現場見学 豊島・島内見学</p>	<p>地引き網体験</p>	<p>講演会 シンポジウム 終了式(16:00)</p>
	夕食	<p>夕食 豊島住民と交流 バーベキュー</p>	
よる	<p>豊島盆踊り交流</p>	<p>交流会 (星座観察・夜光虫観 察)等</p>	
	島内宿泊	島内宿泊	